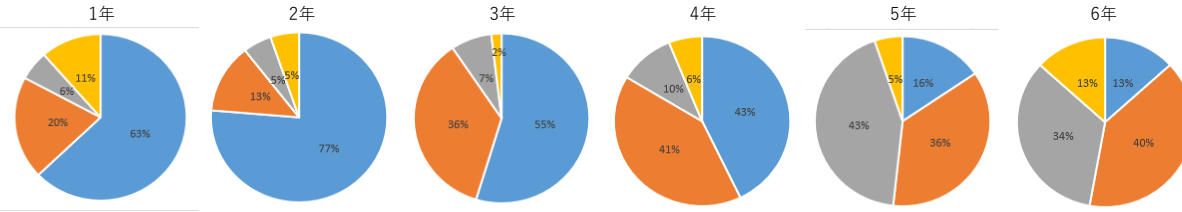
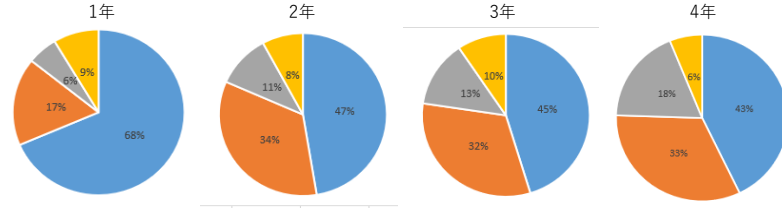


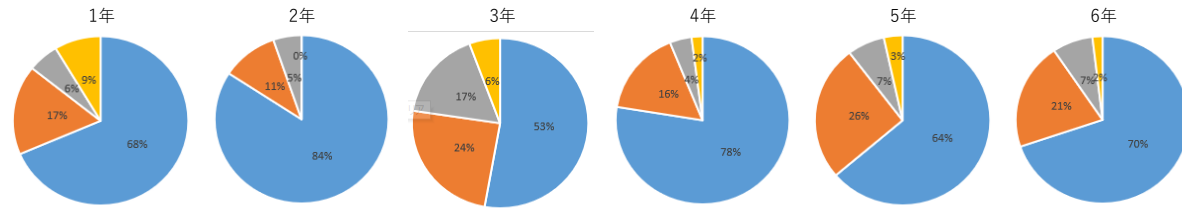
(1) 英語を勉強することは楽しみである。



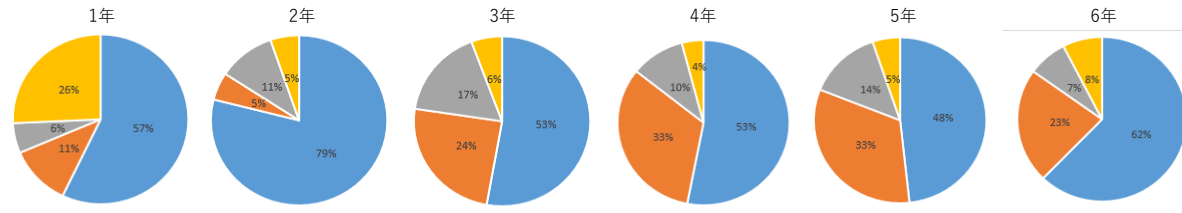
(2) 外国にきょうみがある。



(3) 英語の勉強は役に立つと思う。

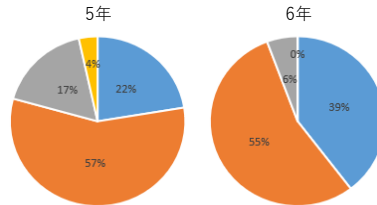


(4) 外国の人と英語を使って、話せるようになりたい。

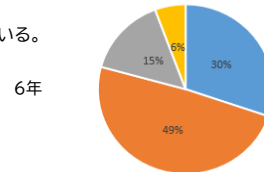


- 1. あてはまる
- 2. どちらかといえば、あてはまる
- 3. どちらかといえば、あてはまらない
- 4. あてはまらない

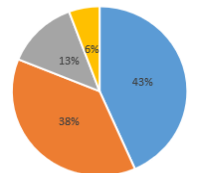
(2) 外国語(がいこくご)の授業(じゅぎょう)の内容(ないよう)は、わかりやすい。



(3) 外国語(がいこくご)の授業(じゅぎょう)では、活動(かつどう)に積極的(せっきよくてき)に参加(さんか)している。



(4) 外国語(がいこくご)の授業中(じゅぎょうちゆう)にわからないことがあったとき、先生(せんせい)や友人(ゆうじん)にたずねてわかってほしい。



◆学校関係者(教職員を除く)からの意見

児童が授業をとても楽しんでいることがよく分かります。言語能力の育成においては、子どもたちが「話したい」と思えるような必然性のある学びをこれからも大事にしてほしい。

◆今後の課題

低・中学年では、外国語活動を楽しみ取り組んでいる様子が数値から伺えるが、高学年にかけて、楽しいと感じる児童の割合は減っている。しかし、授業の内容はわかりやすいと感じ、授業に主体的に参加していることがうかがえる。また、わからない時は友人や先生に聞くことができている。今後も、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することをめざすとともに、外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにしたり、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養ってほしい。